

活発な議論を実現

常議員会議長 黒岩 哲彦 (33 期)



常議員会の経験は 4 プラス 1

常議員となるのは、1 回目は法務省が司法試験丙案を提案した 1989 年度、2 回目は北千住パブリック法律事務所設立を決めた 2003 年度、3 回目は副会長を退任した翌年 2010 年度です。3 回も常議員を務めたのだから常議員立候補はもうないだろうと思っていたのですが、会派代表から役員選挙直前に立候補要請があり、突然立候補することになってしまいました。山岸憲司東弁会長時代の 2009 年度は常議員会担当副会長だったので、常議員会への関わりは実質的には 5 度目です。

弁護士自治の担い手

常議員会には、ほぼ毎回、「弁護士名簿登録及び登録換えのための入会申込可否決定の件」が上程されます。常議員会内入退会審査調査会の審査結果報告を受けて、質問と討論を行います。入会可否決定は東京弁護士会の弁護士自治の根本に関わります。申込者にとって東京弁護士会に弁護士登録ができるか否かが極めて重要な事柄であることは勿論ですが、弁護士と弁護士会の信頼確保の観点も重要です。今年度の常議員会は、審査結果報告に対する率直な質問と活発な討論を行っており、弁護士自治の担い手の役割をしっかりと果たしています。

激しい議論

常議員会は議決機関ですから、会内に様々な意見がある議案について議論がほとんどなされないようでは議長として

は残念なことです。理事者への鋭い質問は、理事者にとってはたいへんですが、理事者の誠実で的確な回答とともに、議論を深めることとなり、議長としては内心はたいへん喜んでいきます。

激しい討論も行われています。「選挙会規一部改正・郵便投票制度導入」の議案は、組織内弁護士の会務参加保障、多摩支部会員の会務参加保障、弁護士自治のあり方などの複眼的な観点から常議員間で激しい議論がなされました。また、日本弁護士連合会の臨時総会議案の「少年・刑事財政基金のための特別会費徴収の件中一部改正の件」は、会財政のあり方、若手への配慮、少年事件の国選付添人拡大と検察官関与拡大・重罰化などの観点から、昨年度に引き続いて激しい議論がなされました。

議長として楽しい経験も

先進会員感謝慰労の会には常議員会議長として出席を許され、女流囲碁棋士の青葉かおり 4 段のご講演を聞くことができました。私は囲碁ができないのですが、青葉かおり 4 段の「確率的な発想」は示唆に富むと思いました。また、東弁運動会では常議員会議長として万歳三唱をするというので、3 歳と 0 歳の孫も参加しましたところ、孫は福引の菊地裕太郎会長賞が当たってしまいました。12 月には職員旅行にも参加します。

議長にも慣れてきましたが、もうすぐ任期が終わり、寂しい気持ちもあります。

常議員会「副」議長とは

常議員会副議長 成田 慎治 (43 期)



常議員会とは

常議員会は、月に1回程度の頻度で開催され、各種議案を審議、決議する機関であり、総会を除けば、当会での、最高意思決定機関といえるのではないのでしょうか。

各委員会の活動や、会長、副会長の行う業務も、重要な事項については常議員会の承認決議を要しますので、常議員会の責務は極めて重いといえます。

議長良ければ全て良し

常議員会の議長は、常議員の議事運営の最高責任者で、常議員会の議事進行を担う重責を負っております。

議長は、常議員から、質問や意見を十分に引き出し、かつ、集中的に審議できるよう配慮するなど、最初から最後まで緊張の糸を張り詰めていなければなりません。

議長が優秀なら、常議員会がスムーズかつ充実したものになりますので、「議長良ければ全て良し」といえます。

副議長の役割

それに比べて、副議長は、議長の横で、ただ、座っている？と思われていますが、議長の補佐を行う、アシスタント役として、意外と仕事はあるのです。

たとえば、次のようなことをチェックしております。発言者が多い場合、挙手をしていても議長から指名されない人がいないか、質疑に対する説明者の回答が要領を得ているか、決議の結果の発表（可決された場合も全会一致か賛成多数か）に間違いがないか、議案を全て漏れなく審議し

ているか、等々。

そして、万一、議長が常議員会に出席できない等のアクシデントの場合は、代わりに議長役を務めなければなりませんので、いつも、議長と同様の議事進行ができるよう、陰で努力しておかなければなりません。

本年度の副議長(私)の場合

本年度は、黒岩哲彦議長が、的確かつ柔軟な議事進行をしており、そのおかげで、前述の副議長の役割を実行に移す機会がほとんどございません。

黒岩議長は（見てのとおり？）病気などとも無縁でしょうから、私が代わりに議長を務める事態も起きておりません。

よって、本年度の副議長は、野球で例えると、ブルペンで投球練習するだけで（練習している姿すら見せておりませんが）、全く出番がない状態です。黒岩議長は、東北楽天イーグルスの田中将大投手のようです。その方が、チームも優勝できるのですから、本当に良いことです。

というわけで、本年度は、副議長の役割を目に見える形で行うことがほとんどございませんので、私は、発言者の方々から、様々な意見を拝聴し、会務に関する知識を身につけ理解を深める良い勉強をさせて頂いております。

最後に

任期も残すところわずかではありますが、今後も補佐役として、目立つことはないですが、細かいチェックを継続して、黒岩議長が安心して、議事進行ができるよう、お役に立てればと思っておりますので、どうぞ、宜しくお願いします。